

半田市議会議員の こいでよしかず義

市政あれこれ



48

発行日 令和2年4月20日
事務所〒475-0828 半田市瑞穂町5-3-18
連絡所〒475-0078 半田市新池町2-201-22



芦屋に学ぶ

文化振興による街づくり

文化はまちの基盤!!

半田市には「山車・蔵・南吉・赤レンガ」など文化資源が豊富にあり、市民の文化芸術活動も盛んに行われています。当然、「文化振興」をまちづくりの重要テーマとして位置けた取組が必要です。また、市民憲章においても「高い文化を築きましょう」と唱えています。具体的な指針を示していません。そればかりか現状は、文化振興を教育の一環としており、抜本的な見直しが必要です。

市民それぞれが、教養や学習の機会として文化芸術活動に勤しむことは必要ですが、まちづくりに繋がりません。文化資源を活かすためには、文化振興の目指すところを明らかにし、多くの方巻き込んだ議論が必要です。

計画づくりのお手本は、兵庫県芦屋市です。芦屋市は、大正時代に文化の香る街を目指して開発されています。現代においても、そのアイデンティティを感じ取れる文化振興を実践していました。芦屋市の「文化振興基本計画」では、100を超える事業をあらゆる部署で取り組んでいます。文化に垣根はないと云う事でしょつか。

半田市も、高い文化をきつてきた歴史があります。その背景などをなぞりながら、新たなまちづくりをしたいと思っています。

書で取り組んでいます。文化に垣根はないと云う事でしょつか。

半田市も、高い文化をきつてきた歴史があります。その背景などをなぞりながら、新たなまちづくりをしたいと思っています。

文化振興基本計画策定を提言しました!!

半田市議会文教厚生委員会は、この点を踏まえた議論を重ね、文化振興についての提言をしました。

- 一、文化振興基本計画を策定する
- 一、学識経験者や専門的な識見を有する方々を交え、幅広い意見を踏まえて進めること。
- 一、まちづくりの根幹を担うべきものであることに鑑み、所管部署は市長部に置くこと。

今年度は、市民アンケートや団体への聞き取り調査が行われ、次年度以降専門部会や審議会を立ち上げていくことになるとしています。それぞれの団体の活動のみならず、はんだが「文化の薫り高いまち」になっていくよう議論をお願いしたいと思えます。

阪神間モダニズム

芦屋が目指したまちづくりを、「阪神間モダニズム」と表現しています。大正デモクラシーの時代背景もあってからでしょうか、文化レベルの高い新しいまちづくりをしようというコンセプトがあったようです。左は、その時代から地域のシンボルとして親しまれている国指定重要文化財旧山田家住宅です。20世紀を代表する建築家フランク・ロイド・ライトが設計しています。



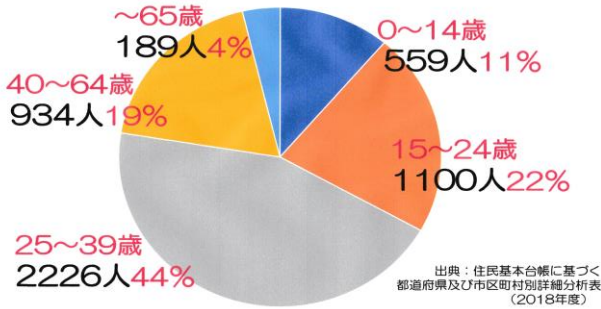
子育て支援

学童の保育料・休日保育に課題

子育て支援は充実してきてはいるが…

子ども子育て支援制度ができて5年、今年度から第2期支援計画がスタートしました。これまでの成果として、子ども園や学童保育の充実、地域子育て支援拠点整備の促進が挙げられます。サービスの利用者も増えていきます。新たな計画の策定にあたっては、利用者を対象にしたアンケート調査を実施しており、ますます充実した子育て環境が整って行くことが期待されます。でも気になっていることがあります。

転入者の年代別人数と構成比

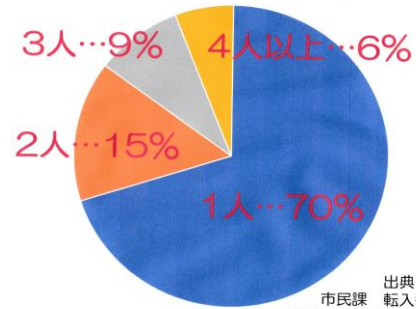


転入者の大半は子育て世代ですが…

上のグラフは、転入者の年代を表しています。25から39歳の子育て世代が転入者の中心となっていることが解ります。しかしその実態は、右のグラフにあるように転入世帯の70%が単身となります。

転入者の多くが男性で、外国人も多く含まれているようです。そして、仕事の都合で家族と離れて暮らす方が多い実態である点は理解できます。しかしこの調査結果では、半田市は「子育てし易い街」として評価されているということになります。

転入世帯の家族構成

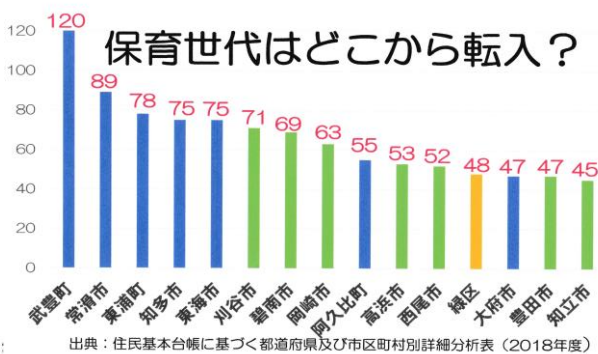


学童の保育料や休日保育の差を埋めよう!!

左のグラフは、保育世代がどの自治体から転入しているかを調べたものです。知多半島に次いで、西三河から多く転入があることが解ります。

ちなみに、西三河の自治体の子育て施策との差を調べる、「学童の保育料や休日保育」の政策に差があることが解ります。この差を埋めることが、これからの子育て施策の重要課題だと思えます。この点についても、当事者の声に耳を傾け改善を図って参ります。

保育世代はどこから転入？



QRコードから
ホームページ
をご覧ください



3月議会では、「保育の改善」を取り上げました。左のQRコードから「1100議一歩がびんぼのあじわい」に繋がります。お試しください。

前代未聞の「非常事態宣言」が発表されました。「発令」でないところが微妙ですが、多くの国民はその意図を組んでステイホームに取り組んでおられるようです。この先どの様になっていくのか気がかりですが、今やることを一杯やっつけていかなければなりません。私も、ここぞとばかりにホームページの隅に勤しんでいます。成果は、左のQRコードからご覧いただけます。

ステイホームで